

～川と人、人と人をつなぐ～

淀川管内 河川レンジャー RIVER RANGER

News No. 5 No. 5



外来魚の防除活動



葦で作ったバッタ



ツバメのねぐら観察会

河川レンジャーって？

住民と行政とが一体となった河川管理を目指すため、淀川・宇治川・桂川・木津川をフィールドとした川に関するさまざまな活動を行い、住民のみなさんに川のファンになってもらうよう呼びかけている住民と行政のコーディネーター(橋渡し役)です。



木津川で魚とり



淀川の舟運についてのお話

草原を楽しもう！

木津川管内河川レンジャー
山村 武正



淀川流域には大きく分けて湖北の山から流れ出た水は琵琶湖に集まる宇治川と三重県の青山高原から来る木津川と京都の愛宕山の奥から流れてくる桂川があります。流域には山の植物や平野の植物水辺の植物などいろいろな種類が生育しています。これらの植物は春や夏、秋など季節が変わるたびに仲良く順番に花を咲かせ、そして咲き終わると次はあなたの順番です。いつまでも居座っていません。みんなで土手の美しい緑を保っていきましょう。

毎年6月に親子自然観察会を木津川の堤防でおこなっています。新しいみずみずしい草が生え茂り近畿地方ではあまり見られなくなった草原が木津川の斜面に出現します。子ども達の背丈ほどになった草の中を走って倒れても負傷することはありません。安心して蝶やトンボ、昆虫を追いかけることが出来ます。来春には一度木津川の草原を思い切り走ってみてください。皆さんのお越しをお待ちしています。近鉄新田辺駅から徒歩15分です。

こうした植物が育っているのは生きていくための条件が非常にすぐれて適していることへの証明です。普通こんな多くの絶滅に向かっている植物がそうやすやすと見つかるものはありません。なぜその条件が整っているのでしょうか。それには三つの条件があるからだと考えています。一点目は土地が貧瘠で、大きく茂れるための養分が少なく繁茂できないという点、二点目は砂でできた堤防だから水分が常に地下に浸み込んでしまうこと、三点目はこれまで里山管理で行われていた下草刈りが堤防の安全点検のために年間2回行われ、春先に芽を出す若葉に太陽の熱と光が平等に与えられないからでしょう。

川は楽しく安全に 利用しよう！②

秋は季候も良く、河川敷は自然観察に適した環境です。河川敷での観察時の注意として、水際の草が生い茂っている場所にはむやみに入り込まないようにしましょう。川に落ちる、すべて転ぶなどのおそれがあります。また、擦り傷や虫さされの予防として服装は長袖、長ズボンを着用しましょう。

次号予告
河川レンジャー
News
No. 7
12月 発行予定

頑張れ！レンジャーの卵たち

河川レンジャー講座が 実施されました！



▲木津川で行われた実習。水辺の自然やマナー、救命講習について学びました。



▲淀川河川事務所長による修了証書授与式。4日間にわたる受講、お疲れ様でした！

今年の夏も、一般を対象とした「淀川発見講座」、そして河川レンジャー希望者対象の「レンジャー養成講座」の二つの講座が開講されました。川が大好きという受講者が集まり、自然や水防、川の安全に関する講義や現地実習、そして養成講座最終日には河川レンジャー希望者による「レンジャー」としてやりたい活動の発表」として様々な活動案が出されました。どの方からも川に対する思い入れの強さや自分たちの手で川を良くしていきたいという思いが伝わってくるようでした。審査を経て、このレンジャー希望者の中から今秋行われる運営会議にて新たなレンジャーが誕生する予定です。



淀川管内河川レンジャー事務局

〒573-0056 大阪府枚方市桜町3-32
TEL: 072-861-6801 (9時~17時) <http://www.river-ranger.jp/>

ツバメのねぐら入り観察会

春から夏にかけて町中でよく見かけたツバメたちは巣立ちを経て、8月の夕刻に集団になってねぐらを形成します。今年の夏は、向島、鶴殿、城北の三箇所のヨシ原でこのツバメのねぐら入り観察会が実施されました。すごい数のツバメが夕暮れとともにヨシ原の空一面に集り、乱舞する様子は意外と知られていない夏の風景となっていて、観察会参加者からも歓声が上がります。「毎年見ていると感動する」「自然のすごさを実感した」と話していました。



▲空の黒い点は全部ツバメ！飛び交う様子は近くで見るとすごい迫力です。



観察前は専門家のお話やツバメの紙芝居でツバメについて勉強しました。



みんなで
元気いっぱい

川遊び！



今年も暑かった夏休み。夏ならではの水辺での活動がたくさん行われました。

木津川では3回にわたる魚とりが実施され、毎回100人以上が集まり大盛況。魚がとれたお友達もそうでないお友達も川の冷たい水が気持ちよく終始笑顔を見せていました。また、子どもだけではなくお父さんお母さんも川に入った経験がないという方が多く、家族揃って貴重な夏休みの思い出になったようでした。点野わんどで行われた「淀川丸ごと体験会」では、朝から河川美化や葦工作、ゲームそしてEボート体験や魚とりなど川に関するたくさんの方の活動を一日で体験しました。川に入ると普段とは違った表情を見せる淀川の景色にきつとたくさんの方の発見があった事でしょう。盛りだくさんの一日でしたが、みんななどの体験も「面白かった！」と元気いっぱいに答えていました。

川に実際に入って生き物と触れ合う体験は本当に楽しいのですが、水辺の活動で忘れてはいけないのが安全管理。事故があつては楽しい思い出が台無しです。河川レンジャーが行う活動ではライフジャケットの着用や、川で遊ぶ時の注意をしっかりと学習し、より川を知って、川に親しんでもらうことを心がけて実施されています。

楽しい思い出は安全があつてこそ。川体験は楽しいだけでなく、自分の身は自分で守る、という事もしっかりと教えてくれます。



▲ライフジャケットをしっかりと着用していざEボートで出発！

水害から守ろう！ 私たちの町…



福島管内河川レンジャー
辻川 松子



▲9月に行われた活動での非常食の紹介（左）と水防工法体験（右）の様子。他にも救急講習や可搬式ポンプの始動体験を行いました。

私の町に寄り添うように流れる淀川は、近年の社会環境の変化で自然が破壊されたと言われ始めるもの、都会では珍しい干潟を始めとする自然が一杯の「都会にある自然の宝庫」として穏やかに悠々と流れています。その様な中で私自身も含め、川の災害体験を知る人が少なくなり、危機意識も薄れてきている現状にあります。「もしかの時」を考えると、「知識や恵」を持つ人の力を伝えていくことが大事であると考えます。河川レンジャー活動はまだまだ手探り状態ですが、人と人を繋げる地域のコーディネーターに徹することがレンジャーの責務ではないかと思えます。

勿論大きなことはできませんが、地域の大人が今まで生きるために培った技の知識・知恵を、次の時代の担い手に成り得る中学生を始めとする青年に伝えて行きたいと思っています。活動の一つにしている災害に対する危機意識の啓発や、水防活動に最低限必要な水防工法の習得さらには、防災リーダーの育成に繋がる「防災スクール」は区役所・河川事務所・レンジャーが目的の一つにして進めてきた結果、4年目を迎えます。今年度は特に、授業時間3日の6時間を頂くことが出来、わがまち「防災スクール」安心、安全なまちづくりを目指して、を3回に渡り、開くまでになりました。「最悪」「重たい」「しんどい！」など、様々な声を聞くものの当日係ったスタッフからは、「地域でも」「他の中学校にも」と大きな反響をいただきました。無事第一回は終了しました。他への普及効果と、命の大切さや自らが助かること、共に助け合うことを伝えて行きたいと思っています。課せられた課題は山積していますが、更にバランス感覚を磨き子どもが大好き・遊ぶことが大好き・人が大好き・人を結ぶ河川レンジャー」を目指して活動を進めていきたいと思います。

身近な防災と
利水について考えよう！

防災大道芸



長岡京市総合防災訓練にて、「防災ミニ大道芸」として参加者に水害時の防災やペットの防災、雨水利用防災について発信した柳沼レンジャー。「ゲリラ豪雨」と言われる局地的な大雨が多発した今年の夏。来場者は興味深く見学していました。

小学校職員研修会



▲先生たちへ川体験について質問。（中島レンジャー）



▲小畑川・犬川合流点付近見学の様子。（柳沼レンジャー）

河川レンジャーの活動では、小学校との連携による活動はこれまで主に児童を対象に行われてきましたがこの夏休み期間中は小学校からの依頼を受け、初めて先生に向けた河川学習の勉強会が実施されました。講師として中島レンジャーは芥川の環境学習をテーマに講義を、柳沼レンジャーは流域の水の流れと水防に関する地を巡るフィールドワークをそれぞれの地域で実施し、先生達へ向けて河川啓発を行いました。

河川レンジャー 活動案内

- 参加は無料です。
- 活動の参加お申込、お問い合わせは事務局にて受付いたします。
- 小学生以下のお子様は保護者同伴でのご参加をお願いします。
- 活動の詳細は決まり次第、ホームページからも発信していきます。

福島管内・菊井レンジャー 「河川レンジャー自然観察会」

淀川下流域は大都会の中にあるが、多くの野鳥が観察できる希少な自然の宝庫です。いつまでも残しておきたい貴重な自然環境を伝えるため、月に1回観察会を行います。

日程：毎月第3日曜
 実施場所：十三千潟、柴島千潟水道記念館（集合は9時30分に十三駅東口）
 参加対象者：一般



福島管内・辻川レンジャー 「よどがわ河川敷フェスティバル」

フェスティバル内のブースにて、水害時の町の中を疑似体験できる水没ドアと水中歩行の体験施設を設置します。水害が多発する昨今、いざという時のことを考えてみましょう。また、葦を使った工作と紙芝居も実施します。

日程：10月19日（日）
 実施場所：淀川河川敷（西中島地区）
 参加対象者：一般来場者



「わがまち防災スクール」

災害発生時に中心的役割が果たせる防災リーダーの育成を目的とし、地域の中学生に向けて水防に関する授業を行います。

日程：11月、12月の2回
 実施場所：十三中学校
 参加対象者：中学校との連携により実施

毛馬管内・野路レンジャー 「淀川大堰・毛馬閘門の見学会」

毛馬排水機場周辺の施設は利水について学ぶ事の出来る身近な施設です。今回もこの施設の見学会を通して、水の利用法、防災意識について学びます。

日程：10月日曜
 実施場所：毛馬排水機場周辺
 参加対象者：一般



毛馬管内・野路レンジャー 「蕪村の碑・清掃活動」

日頃利用している河川敷および周辺の美化活動として地域のみなさんと一緒に、河川敷と文化施設周辺の草刈りを中心とした清掃を行います。

日程：11月日曜
 実施場所：蕪村の碑周辺
 参加対象者：地域自治会との連携により開催

毛馬管内・原田レンジャー 「ブラックバス退治作戦」

生態系豊かな城北わんどですが、近年はその生態系を脅かすブラックバスやブルーギルが増えています。外来種問題をはじめとする淀川の生態系について考えてみましょう。

日程：11月日曜
 実施場所：城北わんど
 参加対象者：一般



枚方管内・立川レンジャー 「外来植物クリーン作戦」

自然豊かな点野わんどですが、近年は外来種の繁茂による在来種の現象やゴミ問題などの環境問題を抱えています。そこでわんどの環境保全のため、清掃活動を中心に外来植物の防除にも取り組みます。

日程：10月5日（日）
 実施場所：点野わんど周辺
 参加対象者：一般



枚方管内・上田レンジャー 「淀川と人との関わり歴史探究」

淀川の治水・利水に関する学習に最適な点野わんどにて、児童らに向けて古くからの人と淀川との関わりと環境問題について発信します。

日程：10月上旬
 実施場所：点野わんど周辺
 参加対象者：点野小学校との連携により実施



枚方管内・荘司レンジャー 「淀川の野草ウォッチング」

数々の植物が実りの姿を見せる秋、淀川河川敷を歩きながら、秋の野草などの植物観察をします。またミニ講座として淀川水系の歴史や「樟葉わんど」について勉強します。「わんど」では投網での水生魚の観察もやります。

日程：11月9日（日）
 実施場所：淀川河川敷（牧野、樟葉駅付近）
 参加対象者：一般



枚方管内・瀬野レンジャー 「淀川の見学会・講演会」

豊かな自然と水防・治水の歴史をあわせもつ淀川。施設の見学や自然観察、講演会を通じて淀川の事をもっと知ってみましょう。

日程：①10月25日（土）
 ②11月22日（土）
 実施場所：①淀川資料館および淀川河川敷、中央流域センター
 ②楠葉生涯学習市民センター
 参加対象者：一般



高槻管内・中島レンジャー

「芥川・淀川」の多様な生態系を守ろう！ 「植生から見た芥川」

リバーウォッチングとともに観察会を行い、芥川の植生の特徴について学習し、外来種問題についても考えてみましょう。

日程：10月18日（土）

実施場所：芥川流域

参加対象者：一般



高槻管内・中島レンジャー

「小学校での啓発活動」

高槻市内の小学校を対象に、芥川・淀川についての講義や生き物観察を行い川への理解を深めるとともに美化啓発にもつなげていきます。

日程：10月5、11月

実施場所：芥川流域

参加対象者：小中学校とのおよび各小学校

連携により実施

「稲作体験学習」

川への愛情の育みを目的に小学校の総合学習の中で稲作体験を行い、利水や水の大切さを地域とともに学習します。

日程：10月7日（火）

実施場所：高槻市柱本

参加対象者：柱本小学校との連携により実施



山崎管内・谷岡レンジャー

「雅楽を支える鶴殿のヨシ」 演奏会と自然観察会

鶴殿のヨシは楽器「ひちりき」の吹口に古来より最適とされてきました。伝統芸能と自然の関りを伝えたいと思います。

日程：観察会10月18日（土）
演奏会11月5日（水）

実施場所：中央流域センター

観察会は鶴殿のヨシ原

参加対象者：観察会は小学5年生以上
演奏会は一般

山崎管内・谷岡レンジャー

「携帯電話、パソコンを活用 災害から命を守る」

防災は私たちにとって重要な問題。災害に備えて携帯やパソコンを使って川の情報を暮らしに活用しませんか。

日程：10月5、11月

実施場所：高槻市内

参加対象者：一般



山崎管内・仁枝レンジャー

「私たちの川を見る・知る・考える マイリバーウォーク」

人は暮らしの中で川とどう関わり歴史や文化を育み発展してきたのか。川は今、ひどい環境の悪化に苦しんでいます。地域の皆さんと一緒に川辺を歩き「恵の川、美しい川、心を癒す川、歴史や文化を築く川」について見て知って美しい川と地域づくりに考えてみませんか。

日程：①10月11日（土）
②11月15日（土）

実施場所：①伏見区横大路地区
②伏見区納所地区

参加対象者：一般



桂川管内・中村レンジャー

「桂川講座」

農家、漁協、漁師、保護活動家や地域住民：桂川流域で活動するさまざまな立場の住民が集まり歩み寄ることを目的に、話し合いの機会を設け交流を深めます。桂川界隈では、いろいろな人々や生き物たちが様々な生活で関わりをもちながら生活しています。今年で2回目の桂川講座では、外来種（動物）の専門家を招き、地域の人々と交流を深めたいと思います。

日程：10月10日（金）

実施場所：松尾大社

参加対象者：一般

桂川管内・田子レンジャー

「秋を探そう」

あちこちに自然のあつた昔と違い、現在桂川はかろうじて自然が残る貴重な場所。桂川が見せる秋の自然を観察しながら環境保全の大切さに目を向けてみましょう。

日程：10月5日（日）

実施場所：桂川河川敷

参加対象者：一般



「桂川美化啓発活動」

桂川流域の小学校児童に向けて観察会や授業を行い、桂川の自然と環境問題を紹介し、桂川の美化啓発を呼びかけます。

日程：10月5、11月

実施場所：桂川流域

参加対象者：小中学校とのおよび各小学校

連携により実施



木津川管内・山村レンジャー

「川の学校 魚調査」

月に1回、木津川内で地点を変えながら川と接することができる安全な場所探しや魚調査などの実施し、「川ガキ育成」を目指した川の学校を開催します。

日程：①10月26日（日）
②11月30日（日）

実施場所：笠置大橋付近

参加対象者：中学生以上

木津川管内・山村レンジャー

「秋の野鳥観察会」

野鳥に好条件の環境を備える山城大橋付近にて観察会を行います。秋に見られる野鳥の鳴き声に耳をすませてみましょう。

日程：11月22日（土）

実施場所：木津川出張所管内
流域センター

参加対象者：一般



「京都環境フェスティバル 2008」に出展します！

本年度も、環境について楽しみながら学び考えることができるイベント「京都環境フェスティバル」に出展し、主に京都府域で活動中の河川レンジャーの取り組みを紹介します。展示のほか、体験型の催しも実施予定です。

- 日程…12月13日（土）、14日（日）
- 場所…京都府総合見本市会館（パルスプラザ）